



アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

8. アジア経済交流の推進

■ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>

ホームページでも公開



■ 各種セミナーの開催

県内企業向けに、外部から専門家をお招きして海外情勢や、販路拡大に役立つ情報についてのセミナーを開催しています。セミナー講師の派遣も実施しています。



9. 海外展開相談窓口の設置

■ アドバイザーの配置

海外経験が豊富なアドバイザーを配置し「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様のご相談に応じバックアップします。(事前予約制・無料)

貿易投資 アドバイザー	中 国	藤野 文晤
	東南アジア	鎌田 廉昭
	ロシア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中国	稻田 堅太郎

富山県海外ビジネスサポートデスク

- 富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所内)
23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
- 富山県台北ビジネスサポートデスク(ジャック経営コンサルタント台北事務所内)
台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室
- 富山県ホーチミンビジネスサポートデスク(北陸銀行ホーチミン駐在員事務所内)
Suite 1709, 17th Floor, Saigon Tower, 29 Le Duan Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam
- 富山県ハノイビジネスサポートデスク(ベトナム計画投資省外国投資局内)
Foreign Investment Agency, Ministry of Planning and Investment 6B, Hoang Dieu, Ba Dinh, Hanoi City, Vietnam

10. 海外市場開拓の支援

■ 海外の国際展示会への出展支援

海外の展示会への出展支援を行い、県内中小企業の海外販路開拓をサポートします。展示会に参加することで、新規取引先の開拓だけでなく、自社製品の現地での反応を確認することができます。

■ 海外現地での販路開拓支援

海外現地での県産品レストランコラボフェアやテストマーケティング、現地バイヤーとの商談会等を実施しています。



○2024年度予定

オーストラリア県産品プロモーション事業

富山県産食材×インドネシアレストランコラボフェア事業

■ 海外販路開拓商談会の開催

海外に商流をもつバイヤーを招へいした商談会を開催し、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。



11. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るために、富山県や産業団体と協力して、富山県ものづくり総合見本市を隔年開催しています。

○直近の開催実績

名 称	T-Messe 2023 富山県ものづくり総合見本市
会 期	2023年10月26日(木)～10月28日(土)
会 場	富山産業展示館(テクノホール)
主 催	富山県ものづくり総合見本市実行委員会
参 加 国・地 域	9か国(中国、アメリカ、タイ、インドネシア等)
対 象 分 野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ 等

▶ P.10 ● 海外バイヤー招へい商談会(現海外販路開拓商談会)
● 海外現地での販路開拓支援

CASE
3

株式会社ハリタ冷蔵 鍼田 隼平社長

魚津の漁業、水産加工業を元気に 海外の市場から刺激を受けて

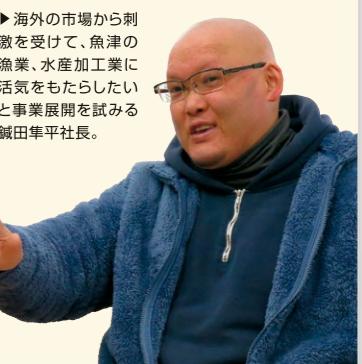
「富山湾産のカニやブリを海外へ」。同社の鍼田社長は平成の終わり頃から漠然と考えていたのが、令和2年度の「海外バイヤー招へい商談会」に参加して、はっきりと意識し出した。そこでバイヤーから商品の品数を増やしたらよいとアドバイスを受け、昆布じめや塩麹漬などを開発。本社横の小売店やECサイトで販売してきた。

そして令和5年、品ぞろえが豊富になったところで「富山県産食材×ジャカルタ市内レストランコラボフェア事業」に参加。現地の日本食レストランで、メニューに商品を用いてもらって消費者の反応を確かめつつ販路開拓を試みようとしたのだ。商談会には現地の飲食業界に詳しい方にコーディネーターとして加わっていただき、アドバイスもいただいた。

鍼田社長は、自社商品の他に氷見の寒ブリなども紹介したフェアを振り返り、「バイヤーの生の声を聞けてよかったです。今は吉報を待っているところ」と期待を持って語った。



▲ハリタ冷蔵の人気商品の一つの紅ズワイガニ(ボイル)と塩麹漬。



▶ 海外の市場から刺激を受けて、魚津の漁業、水産加工業に活気をもたらしたいと事業展開を試みる鍼田隼平社長。

▲ジャカルタでの商談会の様子。